

害虫の発生を長く抑えます。
性フェロモンの方で、

スカシバコン®L

®：信越化学工業(株)の登録商標

《スカシバコン®L》の7つの特長

- ① 昆虫の性フェロモンが、害虫の発生を抑制※。
- ② 対象害虫のみに作用。
- ③ 殺虫剤に抵抗性を示す害虫にも有効。
- ④ 土壌汚染の心配なし。
- ⑤ 効果が長期間持続。
- ⑥ IPM防除の1剤としても使用可能。
- ⑦ 薬剤散布の回数低減可能。

※直接の殺虫作用はありません。

キウイフルーツ
に適用拡大!



コスカシバ(成虫)



ヒメコスカシバ(成虫)

スカシバコン®L

一般名	シナンセルア
有効成分名及び含有量	(E,Z)-オクタデカ-2,13-ジエニル=アセタート……………3.5%
	(E,Z)-オクタデカ-3,13-ジエニル=アセタート……………42.9%
	(Z,Z)-オクタデカ-3,13-ジエニル=アセタート……………40.9%
	その他安定剤等……………12.7%
安全性	人畜毒性：普通物(劇毒物に該当しないものを指していう通称) 魚毒性：A類相当
包装形態	50本入りアルミ袋

スカシバコンLの登録内容

作物名	使用目的	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法
果樹類 食用さくら(葉) さくら	交尾阻害	コスカシバ	40~100本/10a (8g/100本製剤)	成虫発生 初期から終期	ディスプレイを対象作物 の枝に巻き付け設置する
かき		ヒメコスカシバ			
キウイフルーツ		キクビスカシバ	100本/10a (8g/100本製剤)		

上手な使い方

設置時期

越冬世代成虫発生初期に設置してください。

処理量

通常の場合、本剤は10a当り50本とし、圃場の立地条件(傾斜)、周囲の状況や風向き等を考慮に入れて、8割程度を圃場全体にほぼ均等に設置してください。残りの2割程度を圃場の周辺部に処理すると効果的です。

処理位置

目通りの高さ(約150cm程度)になるべく圃場全体が均等になるように取り付けてください。但し、樹高が不均一の場合はなるべく高い位置に設置してください。

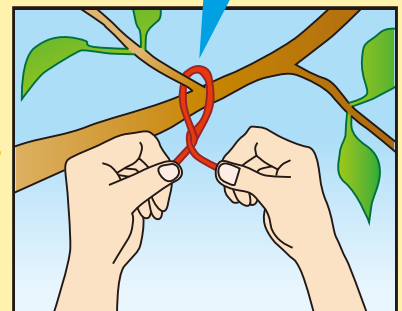
取り付け方法

枝に軽くひとひねりして固定してください。

設置面積

設置面積は3ha以上のまとまった圃場でおこなうと効果的です。3ha以下の設置面積の場合は周辺に多く設置するなど留意してください。

枝にかけて、ひとひねりすれば取り付け完了。



使用上の注意事項

- 本剤は対象害虫の交尾を阻害し、幼虫の発生密度低下を目的とした交信攪乱剤ですので、成虫の発生初期からできるだけ大面積で一斉に使用してください。
- 対象害虫が高密度に存在する場合は、状況に応じて天敵に影響の少ない薬剤と併用してください。
- 急傾斜地、風の強い地域等、本剤の有効成分濃度を維持することが困難な地域では効果が安定しませんので、設置は見合わせてください。

- 誘引剤(SEルアー)とは異なりますので、誘引や発生予察を目的としては使用できません。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると、有効成分が揮散するので、密封したまま冷暗所(5℃以下)に保管し、使用直前に開封し使い切ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

本資料は2019年8月現在の知見に基づいて作成されています。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。